



2025年5月14日

各 位

会 社 名 株式会社バルカー
代表者名 代表取締役社長COO 瀧澤 利治
(コード：7995、東証プライム市場)
問合せ先 I R 室 長 遠藤 浩志郎
(TEL. 03-5434-7372)

再発防止策の進捗状況に関するお知らせ（第2回）

当社は、2024年11月27日付「再発防止策の策定に関するお知らせ」に記載のとおり、特別調査委員会による提言等を踏まえ再発防止策を策定・公表いたしました。現時点までの再発防止策の進捗状況につき、下記のとおりご報告いたします。

株主・投資家の皆さまをはじめ、関係者の皆さまには、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを心より深くお詫び申し上げます。下記記載の取り組みの結果、2024年11月14日に開示した過年度の内部統制報告書に記載した開示すべき重要な不備は是正されたものと判断しております。しかしながら引き続き、信頼回復に向けて緩むことなく再発防止策としての風土改革とガバナンス強化に努める所存ですので、何卒ご理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、これまでの経緯は以下のとおり開示しております。

- ・2024年11月27日付「再発防止策の策定に関するお知らせ」
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/7995/tdnet/2534495/00.pdf>
- ・2025年2月26日付「再発防止策の進捗状況に関するお知らせ」
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/7995/tdnet/2573401/00.pdf>

記

【再発防止策の進捗状況（概要）】

（1）経営トップおよび経営層の再発防止へのコミットメント

再発防止策の実行の前提として、経営トップより、風土改善に取り組んでいく決意を期首メッセージ等で継続的に社内に発信しております。また、2025年4月には当社のコンプライアンスを実践するための指針である「コンプライアンスハンドブック」にトップメッセージとして二度と不正を起こさない決意のもと再発防止策の徹底と風土改善に取り組む思いを掲載し、全社に周知いたしました。今後も、経営トップおよび経営層が中心となり再発防止に取り組んでまいります。

(2) コンプライアンス意識の強化

2024年12月に社内取締役および全執行役員を対象として、今回の不正を踏まえたコンプライアンス研修を実施いたしました。また、2025年4月に就任した新執行役員4名に対しても、コンプライアンス研修を実施しております。加えて、幹部社員や一般社員を対象としたコンプライアンス研修や意識調査についても、実効性を高めるための改善を行い、2025年度中に複数回実施する予定です。

(3) 人材の流動性の促進

「幹部人材のローテーションに関する規程」を2025年2月に新設し、運用を開始いたしました。同規程に基づいて、定期的に幹部人材を流動化させることで、組織の透明性と柔軟性を高め、不正が起りにくい環境を整えてまいります。

(4) 内部統制および内部管理体制の強化

適切な機関による牽制・統制機能を強化するために、2025年2月に試験研究費や交際費を含む経費関連の権限規程の見直しを実施いたしました。2025年3月から新規規程に沿った運用を開始しております。

(5) 内部通報制度の運用強化および信頼性・安全性の向上

不正等に関与した者が自主的な通報や調査に協力した場合にその態様や諸般の事情に照らして懲戒処分を減免できるといった社内リニエンシー制度を導入いたしました。2025年2月から同制度の運用を開始し、自主的な通報を促し不正等に関わる情報の早期発見・把握に努めてまいります。

また、2025年4月から、重要な内部通報について社外役員が関与する仕組みを規程として整備いたしました。通報者がより安心して内部通報制度を利用できる仕組みを整備しております。

(6) 協力会社との健全な取引関係の維持

健全な取引関係を維持するため、協力会社へのコンプライアンスに関するアンケート調査を定期的に変更することといたしました。2024年度実施分は完了し、不正は確認されておりません。アンケート調査は今後も毎年継続的に実施いたします。

また、不正の早期発見を目的に、協力会社向けの通報窓口を定期的に周知する仕組みを構築いたしました。

(7) 企業風土の刷新

上記取り組みを通じて、「悪いことを悪い」と言える心理的安全性のある風土を築き、社員一人ひとりが意見や考えを発信しやすい風通しの良い職場環境を整備することを通じて、ガバナンス体制の強化に継続して取り組んでまいります。

以上